

A9656 0系 新幹線 0+1000番台
NH49編成・ひかり最終編成 基本8両セット 予価:27,400円(税別)

JANコード: 135013 カートン内入数: 12

A9657 0系 新幹線 0+1000番台
NH49編成・ひかり最終編成 増結8両セット 予価:26,000円(税別)

JANコード: 135020 カートン内入数: 12

A9658 0系 山陽新幹線 0+1000番台
R14編成 シャトルひかり 6両セット 予価:22,000円(税別)

JANコード: 135037 カートン内入数: 12

商品形態 Nゲージ塗装済完成品(素材:ABS樹脂製 対象年齢:14歳以上 ブックケース入り)

実車

1964(昭和39)年、東海道新幹線の開業に伴って製造されたのが0系新幹線です。1976(昭和51)年に登場したグループまでは側面窓の大きな「大窓車」と呼ばれるグループで、以降の増備は1000番台・2000番台の「小窓車」に移行し、1986(昭和61)年までに総合計3216両が製造されました。小窓車の多くは初期に製造された0系を置き換える形で既存の編成に組み込まれたため、全盛期の0系のほとんどの編成では大窓と小窓の車両が混結されていました。食堂車、buffet車、2両のグリーン車を組み込んだ「ひかり」用16両編成は最盛期には合計99編成が存在しましたが、1985(昭和60)年以降は後継の100系や300系の増備に伴って「こだま」用編成への組み換えや廃車が進行し、1995(平成7)年3月にはJR東海が保有する最後の「ひかり」用編成が引退しました。国鉄末期に小倉～博多間を短編成化した「こだま」で高頻度運転する試みが行われて好評を博しました。この結果から国鉄分割民営化後に6両編成の「R編成」が多数組成され、山陽新幹線の「こだま」で活躍しました。1991(平成3)年にこのR編成を使用して新大阪以西を走る「ひかり」が登場し、「シャトルひかり」の愛称で親しまれました。

商品概要

・マイクロエース新幹線シリーズの更なる充実
・0系の最盛期を再現した、大窓+小窓の混結編成を製品化
・ヘッドライト、テールライト点灯。LED使用
・フライホイール付動力ユニット搭載
※新幹線は半径315mm以上のカーブを走行可能です。S字カーブの走行はできません。車体が大きいので鉄橋、ホーム等の取付位置にご注意ください。

クリーム10号+青20号の新幹線カラー



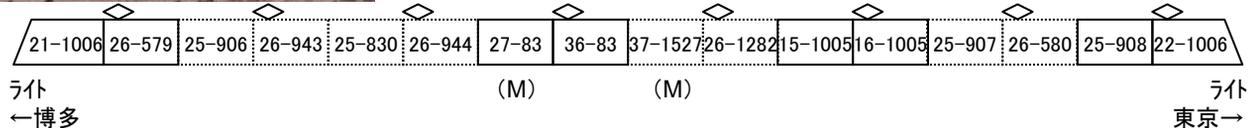
- ・小窓が並び窓の間隔が狭い1000番台を新規作成
- ・JRマークが小型化され、前頭覆いが車体と同色になった晩年の姿
- ・実車に即してパンタカバーの無い姿を再現
- ・業務用室の無い26-1200、buffetが広い37-1500をA9658とは作り分け
- ・ヘッドライトプリズムは実感的な2灯表現の部品を新規作成
- ・JR東海で最後まで活躍した「ひかり」編成を再現
- ・基本セット+増結セットで最長16両編成がお楽しみいただけます

JR東海承認済

編成図

A9656

A9657



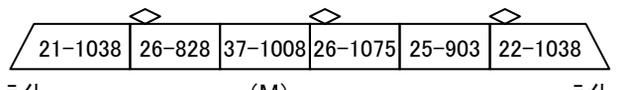
クリーム10号+青20号の新幹線カラー



- ・小窓が並び窓の間隔が狭い1000番台を新規作成
- ・パンタグラフカバー装着前の1990年頃の姿を製品化
- ・業務用室のある26-1000、客室が広い37-1000をA9657とは作り分け
- ・座席パーツはオレンジ色で成型
- ・ヘッドライトプリズムは実感的な2灯表現の部品を新規作成
- ・山陽新幹線でみられたコンパクトな6両編成

JR西日本商品化許諾済

編成図 A9658



オプション 幅広室内灯:G0001/G0002/G0003/G0004, マイクロカプラー:非対応

付属品 行先シール